

土研新技術ショーケース
2025 in 高松



河川管理の現場における 環境DNAの実装と環境情報の高度化

国立研究開発法人 土木研究所

流域水環境研究グループ（流域生態チーム）

特任研究員 村岡 敬子

環境DNA たったバケツ一杯の水から生物情報！

捕獲をせずに生物情報を得る



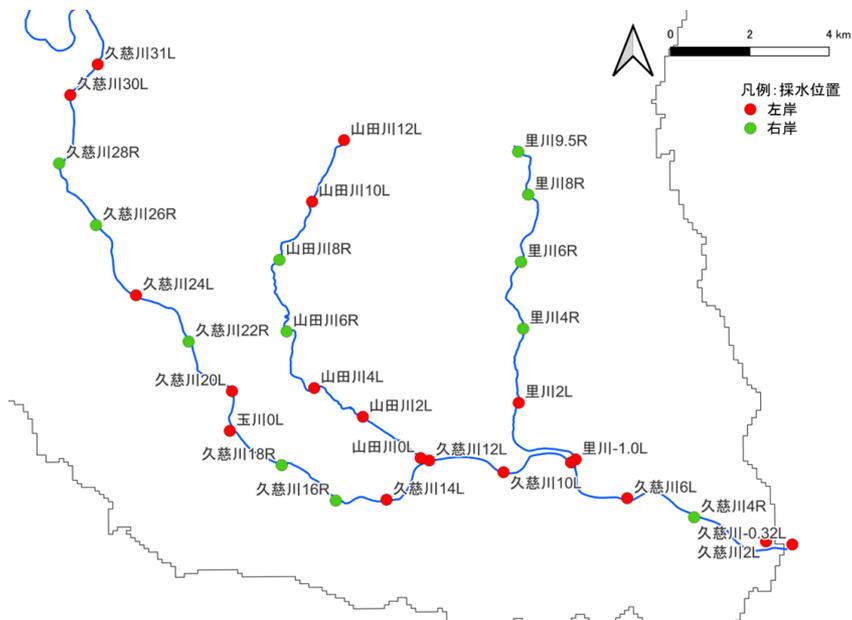
R 8年度 河川水辺の国勢調査への
試験的導入に向けた検討が行われている

河川水辺の国勢調査と環境DNA

粗くても、面的な生物情報
>>多地点調査



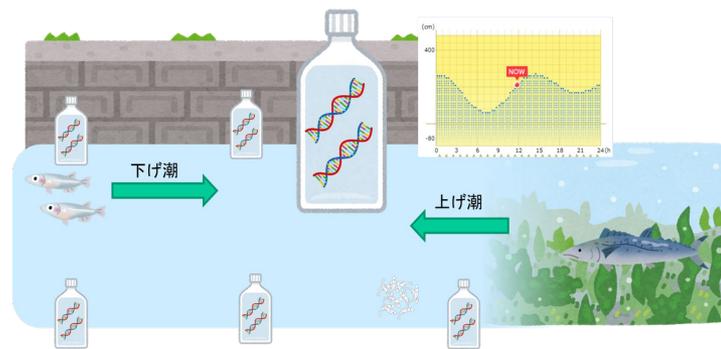
環境DNAの特徴を活かした導入方法が検討されています



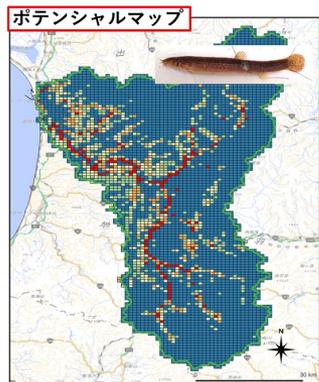
どんな技術？ 環境DNA

1地点が反映する生物情報？

汽水域における注意事項



環境DNA調査実装 そのあと



魚種別分布予測図（ポテンシャルマップ）

環境DNAを活用した 環境情報の高度化に関する共同研究 R4-6

研究項目1 環境DNAの水圏実装に向けた技術体系の構築
研究項目2 環境DNAの活用による環境調査の高度化

国研 土木研究所

流域水環境研究グループ
流域生態チーム

指定機関

国研 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所

国研 農研機構

民間事業者

研究担当技術者が会場にて説明

いであ株式会社

株式会社ウエスコ

株式会社エコー

応用地質株式会社

株式会社建設環境研究所

株式会社建設技術研究所

日本工営株式会社

大成建設株式会社

パシフィックコンサルタンツ株式会社

公益財団法人リバーフロント研究所

一般社団法人水源地環境センター

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究報告書

環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究概要集

パネル会場にて配布



環境DNAを活用した環境情報の高度化に関する共同研究 R4-6

研究項目1 環境DNAの水国実装に向けた技術体系の構築

～外せないスポットはどこだ？
環境条件から検討する採水地点～

河川における効率的な環境DNA採水条件の検討

パシフィックコンサルタンツ 株式会社

～海綿スポンジが環境調査を変える?!～

パッシブサンプリング法による調査の試行

(公財)リバーフロント研究所、日本工営(株)

研究項目2 環境DNAの活用による環境調査の高度化

生物情報を面的に捉える!

環境DNAデータを用いた流域における魚類のポテンシャルマップ作成

株式会社 建設環境研究所

上記3技術は、実際に研究を担当した技術者が来場中! パネル会場にて直接説明いたします!